

資料 No.5

江田島市公共交通協議会
平成26年11月25日

おれんじ号の運行見直しの時期について(案)

1 運行の基準

■上下便の稼働率がいずれも50%（大須朝夕便は25%）を下回る場合は減便

※ ただし、交通空白不便地域の移動手段確保のため、週3日・午前午後各1便は最低限確保する。

■2名以下の利用が全体の9割を超える路線（大須朝夕便を除く）は、車両の小型化（セダン化）

■沖美南部線夜間便（実験運行：18時台の中町～三高往復）は、平成25年10～平成26年9月までの平均乗車人数が1便あたり2名に満たない場合は、運行を打ち切る。

2 見直しの時期（案）

毎年、4月から翌年3月までの運行実績をふまえ、翌年10月から運行を見直す。

（翌年4月～9月は運行する。）

